



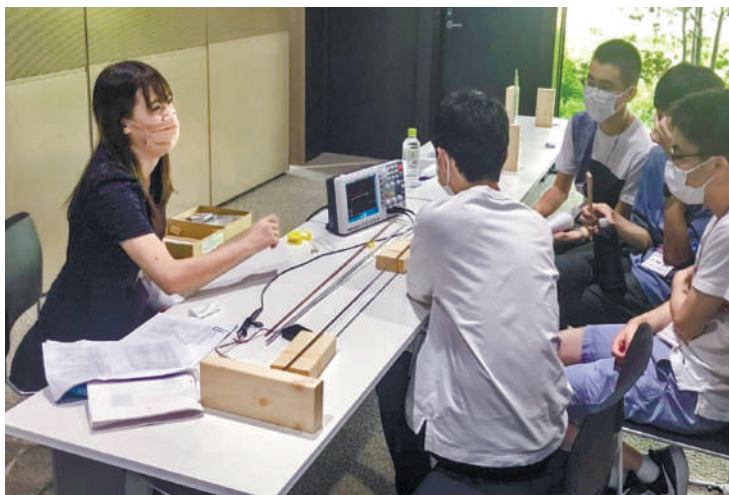
二つの実験レポートや対面試験など

物理

「物理チャレンジ」は中・

高生が集い、互いに刺激し合いながら物理に関する興味・関心を高めること、選拔された生徒が国際物理オリンピックとアジア物理オリンピックに参加し、国際的な舞台で世界各国の選手と競い合い、同時に交流を深めることを目的としている。物理チャレンジは全国規模の物理コンテストで、オンラインの理論試験と実験課題レポート提出を行う第1チャレンジと、第1チャレンジで選拔された約100人を対象に合宿形式研修と対面試験を行う第2チャレンジからなる。各チャレンジで優秀な成績を収めた生徒には賞が贈られる。

第2チャレンジで選拔された8人はアジア物理オリンピックの国際物理オリンピックの日、5人は国際物理オ本代表候補者は、通信添削とリンピックに、日本代表選手合宿研修でスキルアップを図り、最終選考によって選拔され、第2チャレンジで実施される最先端の研究施設見学サイエンスツアーと専門家によるフィジックスライブの各イベントは生徒の物理に対する好奇心をそそる。第1・第2チャレンジの各コンテスト実施後、希望者に



2022年姫路「第2チャレンジ」でのフィジックスライブ

ファーストステップ研修・ステップアップ研修・チャレンジ研修をレベルごとに実施している。さらに、全国の理科教員や中・高生に物理の楽しさと魅力を知ってもらう説明会・研修会の「プレチャレンジ（オンラインも）」、小学生や保護者を対象とした物理実験デモ「ジュニアチャレンジ」、女子生徒を対象とした「女子チャレンジ」も実施している。

ホームページ上で物理チャレンジ・オリンピック経験者のインタビュー動画を掲載することで、具体的なロールモデルとキャリアイメージを提供している。物理教育に関する参考図書・準備勉強用書籍の紹介、過去問の解説集・研修用テキスト・過去のコンテストで使用した実験キットなどの頒布も行っている。

（渡辺一之・物理オリンピック日本委員会副理事長・東京理科大学名誉教授）